

いっしょにまなぼう！ エコキルちょうさ

1じかんめ
しまふくたろう せんせい



ほっかいどう
北海道ユニットセンターの研究成果を

みなさんにお伝えします

だんだん暖かくなってきましたね。みなさんは、春になるとくしゃみが出たり目がかゆかったりしませんか？春から初夏にかけて、いろいろな樹木の花粉が飛び季節を迎えます。今回は、シラカバ花粉のアレルギーについてわかりやすく紹介します。

なぜ、シラカバアレルギーになるの？

● なぜこの研究をやると思ったの？

みなさんは、花粉のアレルギーにはどんなものがあるか聞いたことはありますか？本州では、スギ花粉のアレルギーが有名ですが、北海道では、シラカバアレルギーが多いです。でも北海道の人みんながシラカバアレルギーになっているわけではありませんよね。なぜ、シラカバアレルギーを起こす人とそうでない人がいるのかなと思って調べることにしました。

● どんなことがわかったの？

みなさんがまだお母さんのおなかにいる時に、お母さんから血液をいただいて、シラカバ花粉のアレルギーがあるお母さんがどのくらいいるのかを調べました。協力してくれたお母さんは6,856人。そのうちだいたい30.2% (3人に1人)のお母さんがシラカバアレルギーでした。ここで注意してほしいのは、血液でシラカバアレルギーがあると出ても、全員が鼻水やくしゃみに悩んでいるわけではありません。症状がない人もいます。

右の図は、青い棒が血液でシラカバアレルギーだとわかったお母さんたちで、オレンジがそうでないお母さんたちを表しています。

シラカバアレルギーのお母さんたちの半分は、アレルギー性鼻炎／花粉症の症状がありました。また、17.4%のお母さんは食物アレルギーを持っていました。シラカバアレルギーではないお母さんと比べると、シラカバアレルギーのお母さんは、アレルギー性鼻炎／花粉症や、食物アレルギーになることがとても多いことがわかりました。

また、身長と体重との関係も調べたら、肥満のお母さんのほうがシラカバアレルギーになりやすいことがわかりました。ほかにも、おなかに赤ちゃんがいるときに身体をよく動かすお母さんのほうがシラカバアレルギーに陽性になりにくいということもわかりました。

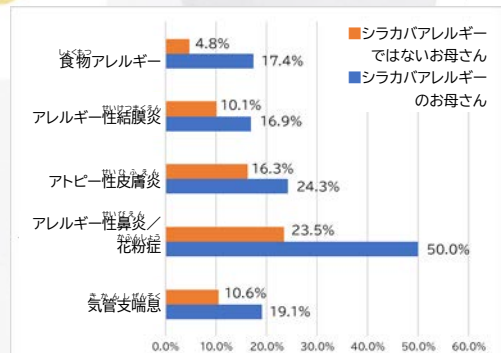
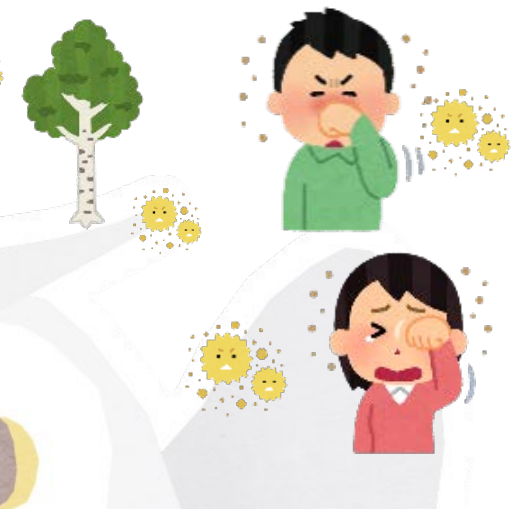


図 シラカバアレルギーのありなしと
実際のアレルギーの症状

Factors correlating with serum birch pollen IgE status in pregnant women in Hokkaido, Japan: The Japan Environment and Children's Study (JECS)

筆頭著者: 旭川医科大学社会医学講座公衆衛生学・疫学分野 西條泰明

※この論文は、「World Allergy Organ J.」に2020年7月3日付でオンライン掲載されました。

